

| Minami Kyushu University Syllabus | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------|-----|------------------------|----------|------------|
| シラバス年度 | 2023年度 | 開講キャンパス | | 都城キャンパス | | |
| 科目名称 | ランドスケープ特論 I | | | 実務経験 | | Active・L ○ |
| 科目コード | 642527 | 単位数 | 2単位 | 学位授与方針との関連 | DP1, DP2 | |
| 教員氏名 | 岡島 直方 | | | | | |
| 授業概要 | 修士学生の関心のある事柄を論文としてまとめていくことになるので、テーマと関係する既往研究については、積極的に収集し、論点について研究していく必要がある。 | | | | | |
| 関連する科目 | 「ランドスケープ特論Ⅱ」 | | | | | |
| 授業の方法と進め方 | テキストや配布するプリント、関連書籍などを読みながら進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題となるとは限らないであろうから、随時本人のテーマについて検討を行う。 | | | | | |
| 授業計画 | <p>第1回. オリエンテーション 本科目の特徴</p> <p>第2回. 卒論と修士論文 卒論の内容との関連性を検討する</p> <p>第3回. 既往研究と研究構想 (事例1)</p> <p>第4回. 既往研究と研究構想 (事例2)</p> <p>第5回. 既往研究と研究構想 (事例3)</p> <p>第6回. 既往研究と研究構想 (事例4)</p> <p>第7回. 中間発表プレゼンテーション 効果的なプレゼンテーションについて検討する</p> <p>第8回. 中間発表</p> <p>第9回. 既往研究と研究構想 (事例5)</p> <p>第10回. 既往研究と研究構想 (事例6)</p> <p>第11回. 既往研究と研究構想 (事例7)</p> <p>第12回. 既往研究と研究構想 (事例8)</p> <p>第13回. 既往研究と研究構想 (事例9)</p> <p>第14回. 最終プレゼンテーション 効果的なプレゼンテーションについて検討する</p> <p>第15回. まとめ</p> | | | | | |
| 授業の達成目標 | 空間の変化に関わる事例報告から学ぶ。 | | | | | |
| 授業時間外の学修 | 各々予習、復習を30分～1時間程度必要とする。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 進行中の内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題を通じて、フィードバックを行う。 | 評価方法・基準 | | 受講態度 (50点), レポート (50点) | | |
| テキスト | "Learning About Relationships", N. Okajima | | | | | |
| 参考書 | 関連書籍：授業のはじめに紹介する。 | | | | | |
| 備考 | | | | | | |